



医療法人伯鳳会

大阪中央病院

「虹」

2022. 11月

Vol.12



特集

大阪中央病院事務方の真相追究

陰の実力者

直撃インタビュー

内部情報独占スクープ

診療情報管理室も忘れないで

経営を支える健診事務部です

医事課の担当

患者さんのサポートは

設備管理は庶務課です

お金は会計課独壇場

病院のアイドル！

情報システム課は

本流は俺たち総務課だ

事務局は七部門で
構成されていた！



病院事務局特集

その真実は？

決定版

探ってみて初めてわかる



隔月刊

大阪中央病院

無料 (FREE)

大阪中央病院

病院内で働く 緑の下の力持ち

「事務職員のお仕事」

医療従事者のサポート役として様々な役割を担っています。

普段はあまり語られることのない事務職員の仕事に、スポットライトを当てご紹介いたしましょう。

診療情報管理室

「診療情報管理室」は「診療情報管理士」により業務遂行しております。「診療情報管理士」とは、医療機関における患者さんの様々な診療情報を中心に人の健康に関する情報を国際統計分類等に基づいて収集・管理し、データベースを抽出・加工・分析し、様々なニーズに適した情報を提供する専門職種です。診療報酬上においても診療録管理体制加算が導入され、診療報酬制度、がん登録推進法、など診療情報管理士が関係する制度も多く、重要な役割を担っております。

求人、勤怠・労務管理、給与、保険関係、規程の作成など、採用から退職に至るまでの間、職員がスムーズに各自の業務にあたるようサポートする役割を担っています。

その他、医局秘書、売店、虹の編集なども総務課の業務に含まれます。

総務課

会計課

会計課では、3名で少数ながら連携を取り合って業務を遂行しています。

病院全体の経理事務、入出金、現金出納管理などのデイリーワークをはじめ、予算管理、決算業務や統計資料の作成など収入支出に関する様々な業務を担当しています。

毎月開催される月次報告会では損益確定後の分析を行い、経営戦略等に有用な報告ができるよう努めています。

情報システム課

情報システム課では、当院の病院運営に欠かせない電子カルテシステム・健診システム・各種部門システム及びネットワークインフラを安定稼働させるため、当院の理念「信頼と納得の医療」のもと、医療情報システムの運用・管理を中心とし、様々な業務を行っております。

また、当院では2021年2月より電子カルテシステムを導入しております。

＜情報システム課の主な業務＞

- ・電子カルテをはじめとする医療情報システムの運用保守
- ・医療情報システムの操作方法などの問い合わせ対応
- ・既存システム保守等契約
- ・医療情報システムの新規導入・連携支援
- ・各種マスター管理・更新
- ・ネットワークインフラ、セキュリティ管理
- ・情報システム委員会の運営 など

健康管理センター 事務部

健診事務部は、年間約7万人の予約や請求、企業との契約などの業務を行う運営管理課と、受診当日の受付、翌日準備、問診票・結果票の発送、再検査の予約業務を行う健診サービス課、総勢55名のスタッフで運営しています。

庶務課

庶務課では、設備業務・資材業務を主に委託業者の窓口的な業務の他、委託外業務(空調・昇降機・医療ガス・消防設備等)の対応等を行っています。その他、購買関連やIT・IT関連、医材料統一の案内等、配信させて頂くことも多いですが、ご協力の程宜しくお願い致します。

医事課

医事課とは、わかりやすくいうと医療事務と呼ばれ患者さんが病院に来られ、帰られるまでの広範囲の事務的業務を担っています。外来業務では診療で来られる患者さんの窓口となり、受付・案内から外来会計、入院の手続きまで患者さんとの接点が多い業務で、入院業務は患者さんの病名や治療内容により定められた診断群分類に基づいて医療費を計算します。

このように医事課は病院の収入源となる診療報酬の計算・チェック・支払機関への請求をしていると意識を高く持ち、日々業務に取り組んでおります。

事務局

病院とは、いわゆる「労働集約型事業」の典型であり、今流に言う「エッセンシャルワーカー」の集合体であるといえます。つまり事業活動の大部分を人間の労働力に依っているということが特色となっています。

構成する職種は医療職による現業部門と、事務職による管理間接部門に分類することができます。事務局の役割としては事業計画や予算等の策定から、本誌で紹介している各担当部門の現場実務まで幅広く、まさに「縁の下での力持ち」として対応しており、医療業務がスムーズかつ最大限有効に力を発揮できるよう尽力している「ピットイン」のような存在といえるでしょう。

副院長兼事務局長 富田 迅

編集後記

病院の表看板は診療実績ですが、これを支えるのは裏方の事務局です。

万全の体制で彼らが支えてくれるので、現在の中央病院が成り立っています。

表から見えにくい部分にスポットとライトを当ててみました。

●皮膚・形成外科より

10月中旬より、巻き爪の矯正治療を始めました。

次号、2023年1月発行の「虹」の特集内記事にて治療についてご紹介させていただきます。

病院レポート 「虹」

2022年11月発行 Vol.12

編集・発行

医療法人伯鳳会大阪中央病院

広報委員会

〒530-0001 大阪市北区梅田 3-3-30

TEL 06-4795-5505 (代表)

FAX 06-4795-5544

◆地域連携・入退院支援センター

TEL 06-4795-5533 (直通)

FAX 06-4795-5535 (専用)

その車は、走る病院。

災害医療車「Medical-ConneX」メディカル・コネクス

医療法人 伯鳳会がコンセプトを描き、第一号車を導入した

災害医療対応のモビリティ・ソリューション。

世界初(※)の免疫・生化学検査機器とCTを同時搭載し、

COVID-19などの感染症にも対応が可能。

検査車両と電源車両からなり、水やエネルギーの外部補給も不要。

AI診断とITを駆使し、災害医療支援を即座に展開する。



※CT装置と生化学・免疫装置を同時搭載した移動型医療ソリューション。シーメンスヘルスケア調べ



病院ホームページ

医療をつなぎ、未来をつなぐ。多くの命を救うために。



伯鳳会グループ
HAKUHOKAI GROUP



私たちは持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。

#青いハートがあふれる社会を



医療法人伯鳳会
大阪中央病院
HAKUHOKAI Osaka Central Hospital